



10月～4月 連載中 //

□問い合わせ まちづくり課 ☎内線344

第3回

# 誰もが参加できる

# 「美の基準」

真鶴町まちづくり条例施行30年を迎える今年度、記念事業を開催しています。また、町民の方々による自主的な「美の基準」を巡るさまざまな活動も行われています。美しいまち真鶴を、みんなで創っていきましょう。

記念イベント開催中

11/26 日

～12/3 日

コミュニティ真鶴  
2階

## 美の基準 ウィーク

会期中毎日9～17時、町の写真を展示中。  
お気軽にお越しください。無料です。

12/2 土

コミュニティ真鶴お手入れ  
&小松石宝探しゲーム

12/3 日

トークイベント  
美の基準とこれからの30年

12/3のみ  
予約制

予約方法や  
詳しい内容はこちら



映像制作しています

## 美の基準 ムービー



美の基準に記されている町の生活風景を受け継いでいくため、条例制定の経緯や現在の町の風景、いま町で起きている良い流れを、わかりやすくお伝えする映像を制作中です。完成後、試写会を予定しています。お楽しみに！

クラウドファンディングに  
ご協力お願いいたします



「美の基準」は強制されるものではなく、みんなで創っていくものです。従ってこの「美の基準」には誰もが参加できます。  
(「美の基準」3頁記載)

町民リレーコラム



次の30年に向けて…「美の基準」に参加中！

小島まき子(まなっこハウス 家守)

私が東京都心から真鶴町に引っ越してきたのは約2年前のこと。初めて訪れたときに、どこか懐かしい感じのする港町の風景に魅了され、干物のおいしさに感動し、何度か通うなかで町の人々との交流も深まり、半ば勢いで引っ越しを決めました。シェアハウス(通称「まなっこハウス」)で3人暮らしをしています。

「美の基準」のことを知ったのは、3度目に真鶴を訪れたとき。それまで何となくいいなあとと思っていた町の景色が、実は「美の基準」によって守られてきた・つくられてきたと知り、感銘を受けました。強く印象に残ったキーワードは「小さな人だまり」と「実のなる木」。人口が少ない町だからこそ、ちょっとした人だまりに出会うとほっこりします。また、私は柑橘類が大好きなので、町中に実のなる木があるなんて夢のようです。すでに真鶴が気に入っていましたが、「美の基準」を知ったことでさらに惹かれ、真鶴への引っ越しに弾みがついたと言っても過言ではありません。

真鶴に住み始めてから1年半。「美の基準」に興味を持ち、ブックを入手したものの、ひとりでは読み込むことができないまま…。そこで、自分でコツコツ学ぶよりも、詳しい人にわかりやすく教えてもらえたら、というズルイ?考えのもと、「『美の基準』を考える会」を立ち上げました。制定に関わった方、運用に携わっている方、建築関係の方など、「美の基準」に“参加”されている方々が集まり、情報交換や企画プレストなどを行っています。

現在、「美の基準」をじっくり読み解く会を開催中。69のキーワードについて、さまざまな視点から意見を出し合い、対話を行うことで、「美の基準」への理解を深めることを目指しています。その先にあるのは、真鶴での暮らしを豊かなものにし、よりよい町をつくっていくこと。「美の基準」はそのヒントやツールになると思っています。真鶴町の未来に向けて、「美の基準」をどう生かしていけるのか、今後みなさんと一緒に考えていきたいです。